

福祉生活病院常任委員会資料

(令和7年7月22日)

【 件 名 】

- 「第12回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」予選審査会の結果及びとり手話フェス2025の開催について
(障がい福祉課)・・・2
- 「更年期だれでもチャットボット」の開設について
(健康政策課)・・・8
- 熱中症対策について
(健康政策課)・・・9
- 国の医師偏在対策に係る要望活動について
(医療政策課)・・・11
- ドクターヘリ運航休止に伴う鳥取県対策会議の開催について
(医療政策課)・・・14
- 安定ヨウ素剤の事前配布について
(医療・保険課)・・・15

福 祉 保 健 部

「第12回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」予選審査会の結果及び とっとり手話フェス2025の開催について

令和7年7月22日
障がい福祉課

「第12回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」の本大会の予選審査会を7月17日（木）に開催し、9月14日（日）開催の本大会に出場する16チームを以下のとおり決定しました。

また、手話イベント「とっとり手話フェス2025」を手話パフォーマンス甲子園を中心として9月13日（土）～15日（月・祝）に開催しますので、概要を報告します。

■第12回全国高校生手話パフォーマンス甲子園

1 本大会出場チーム

別紙1のとおり12都府県16チーム（21校）を選出。

○演劇・コント・ポエム等部門 8チーム（14校（うち、ろう学校5校））

※合同チームが2つ

- ・石川県立ろう学校・田鶴浜高等学校（石川県）
- ・済美平成中等教育学校・松山豊学校・宇和特別支援学校（愛媛県）

※ろう学校以外の学校で編成されたチームが2つ

- ・五ヶ瀬中等教育学校・宮崎日本大学高等学校（宮崎県）
- ・クラーク記念国際高等学校所沢キャンパス（埼玉県）・豊南高等学校（東京都）・自由の森学園高等学校（埼玉県）

○ダンス・歌唱部門 8チーム（8校（ろう学校なし））

※豊南高等学校（東京都）は、両部門で本大会出場

2 本大会出場チームの選出状況

(1) 本大会に初めて出場する学校が6校

宇和特別支援学校（愛媛県）	・済美平成中等教育学校、松山豊学校との合同チームで演劇・コント・ポエム等部門に出場
クラーク記念国際高等学校所沢キャンパス（埼玉県）、豊南高等学校（東京都）・自由の森学園高等学校（埼玉県）	・演劇・コント・ポエム等部門に出場 ・うち、豊南高等学校は単独でダンス・歌唱部門にも出場
南葛飾高等学校（東京都）	・ダンス・歌唱部門に出場
米子松陰高等学校（鳥取県）	・ダンス・歌唱部門に出場

(2) 過去の大会で優勝経験のある4校が本大会出場

第11回（演劇・コント・ポエム等部門）／第10回／第3回：熊本豊学校（熊本県）

第11回（ダンス・歌唱部門）：久米田高等学校（大阪府）

第9回：大宮ろう学園（埼玉県） ※第9回大会では坂戸ろう学園とチーム編成して出場。

第1回：田鶴浜高等学校（石川県）

(3) 鳥取県から2チーム（2校）が本大会出場

- ・米子東高等学校（ダンス・歌唱部門）（2年連続6回目）
- ・米子松陰高等学校（ダンス・歌唱部門）（初出場）

3 本大会演技順・選手宣誓チーム

(1) 本大会演技順：別紙1のとおり

(2) 選手宣誓チーム（抽選により選出）：大宮ろう学園（埼玉県）

4 予選審査会の概要

- (1) 日 時：令和7年7月17日（木）午後1時30分から午後3時まで
- (2) 審査会実施方法：県庁第二庁舎第21会議室（リモート参加あり）
- (3) 審査員

審査員長 (両部門を審査)	庄崎 隆志 氏	演出家・俳優	ろう者
審査員 (演劇・コント・ ポエム等部門)	河原 雅浩 氏	全日本ろうあ連盟副理事長	ろう者
	長井 恵里 氏	俳優・手話表現者	ろう者
	田中 結夏 氏	舞台手話通訳者・俳優	きこえる人
	中 朋美 氏	鳥取大学地域学部准教授	きこえる人
審査員 (ダンス・歌唱 部門)	善岡 修 氏	俳優	ろう者
	瑚 (さんご) 氏	ダンサー・振付師	ろう者
	橋本 一郎 氏	亜細亜大学経営学部准教授・手話アー ティスト	きこえる人
	岡崎 正子 氏	鳥取ダンス協会理事	きこえる人

(4) 本大会出場チームの選出

参加申込みのあった58チーム（別紙2）から提出された予選審査動画の審査により、本大会出場チームを選出。

ア 演劇・コント・ポエム等部門

- ① 得点順枠（4チーム以上） →6チーム選出（初出場枠（1枠分）及び開催地枠から振り替えあり）
審査得点が高い順に4チーム（以上）を選出。
- ② 合同チーム枠（1チーム） →1チーム選出
①選出チーム以外に、聴覚障がいを対象とする特別支援学校高等部とその他の学校で構成する合同チームの中で審査得点が高いチームを本大会出場チームに選出。なお、予選審査で10位以内のチームを対象。
- ③ 初出場枠（2チーム） →1チーム選出し、残り1枠は得点順枠に振り替え
①及び②の選出チーム以外に、これまで本大会に出場したことがないチームの中で審査得点が高いチームを本大会出場チームに選出。なお、複数校による合同チームの場合は、全ての構成校がこれまで本大会に出場したことがない場合のみを対象とし、また、各部門の予選審査で10位以内のチームを対象。
- ④ 開催地枠（1チーム） →選出なしのため、得点順枠に振り替え
①から③までの選出チームの中に開催地（鳥取県）のチームが含まれていない場合に限り、開催地（鳥取県）のチームの中で審査得点が高いチームを本大会出場チームに選出。なお、各部門の予選審査で10位以内のチームを対象。

イ ダンス・歌唱部門

- ① 得点順枠（4チーム以上） →6チーム選出（合同チーム枠及び開催地枠から振り替えあり）
- ② 合同チーム枠（1チーム） →選出（応募）なしのため、得点順枠に振り替え
- ③ 初出場枠（2チーム） →2チーム選出
- ④ 開催地枠（1チーム） →選出なし（①及び③に開催地校あり）のため、得点順枠に振り替え
※それぞれの出場枠の内容は、演劇・コント・ポエム等部門に同じ。

5 予選審査結果発表について

- (1) 日 時 令和7年7月18日（金）正午から午後0時30分まで
- (2) 発表方法 「手話パフォーマンス甲子園☆動画チャンネル」YouTube上で発表
(<https://www.youtube.com/user/skoushien>)
- (3) 内 容

本大会出場16チームの発表、本大会演技順の発表、選手宣誓チーム発表及び審査員長講評

6 本大会の概要

- (1) 開催日時 令和7年9月14日(日) 午前9時30分から午後4時10分まで(予定)
- (2) 開催場所 エースパック未来中心(倉吉市駄経寺町212-5(倉吉パークスクエア内))
(※YouTubeでのライブ中継あり)
- (3) 内 容 予選を通過した16チームによる手話言語を使った演劇、コント、ダンス、歌唱等

■とっとり手話フェス2025

1 フェスの開催について

手話パフォーマンス甲子園のほか、プロの手話パフォーマンスを体感できる場などを提供し、特に若年層が手話言語へ関心を持つ契機とすることを目的とし、手話で広がるエンターテインメント「とっとり手話フェス2025」を“手話の聖地”鳥取県で開催する。

今年はNHKも参加し、9月15日(月・祝)には「NHK手話ニュースキャスターがやってきたin鳥取」を会場内で実施する。

- (1) 開催期間：令和7年9月13日(土)～9月15日(月・祝)
- (2) 開催場所：エースパック未来中心(倉吉市駄経寺町212-5(倉吉パークスクエア内))
※一部、鳥取県立美術館で実施。

2 開催イベント(主なもの)

イベント	開催日	内 容
第12回全国高校生手話パフォーマンス甲子園(大ホール)	9/14	○全国の高校生が、手話言語を使った演劇、コント、ダンス、歌唱など様々なパフォーマンスで表現力を競う大会。 ○予選を通過した16チームが出場。
手話通訳付き対話鑑賞@県美(鳥取県立美術館)	9/14	○きこえない・きこえにくい人ときこえる人が、美術作品について感想や発見をおしゃべりしながら一緒に鑑賞を深める体験型イベント。
手話パフォーマンスミニステージ(アトリウム)	9/15	○地元の小学生の手話パフォーマンス、ろう者による大道芸、手話ができるニホンザルのパフォーマンスなどが楽しめるステージ。
とっとり手話フェスマルシェ2025(ふれあい広場)	9/15	○県内の飲食店をメインにしたマルシェの開催。
ホビーワークショップ(アトリウム)	9/13、9/15	○きこえない・きこえにくい人ときこえる人が一緒に楽しめる文化教室の実施。
「NHK手話ニュースキャスターがやってきたin鳥取」(小ホール・アトリウム)	9/15	○NHK手話ニュースに出演するキャスターによる手話エンターテインメント・トークショー。 ○アトリウムでは、手話ニュースキャスターの体験ができるブースも設置。

第12回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 本大会出場チーム一覧 (予選審査結果)

■ 演劇・コント・ポエム等部門

【①得点順位(6チーム)】※審査得点の高い上位4チーム及び③・④枠で選出がないことによる振替2チーム

地域名	都道府県名	学校名	よみ	得点	本大会出場回数
1 北海道・東北	福島県	聖光学院高等学校	せいこうがくいん	210	2
2 九州・沖縄	宮崎県	五ヶ瀬中等教育学校・宮崎日本 大学高等学校	ごかせちゅうとうきょうい みやざきにほんだいがく	210	五：2 宮：2
3 中部	石川県	石川県立ろう学校・田鶴浜高等学 校	いしかわけんりつろう たつるはま	206	石：3 田：12
4 関東	埼玉県	大宮ろう学園	おおみやろう	203	4
5 中部	愛知県	杏和高等学校	きょうわ	199	7
6 九州・沖縄	熊本県	熊本聾学校	くまもとろう	188	11

【②合同チーム枠(1チーム)】※①を除き聴覚障がいを対象とする特別支援学校高等部とその他の学校で構成された合同チームの中から審査得点が高いチームを選出

地域名	都道府県名	学校名	よみ	得点	本大会出場回数
1 中国・四国	愛媛県	済美平成中等教育学校・松山聾 学校・宇和特別支援学校	さいびへいせいちゅうとうきょうい まつやまろう うわとくべつしえん	198	済：3 松：7 宇：初

【③初出場枠(1チーム)】※①・②を除きこれまで本大会に出場したことがない上位2チームを選出(選出条件の上位10チーム以内を満たすチームは1チームのみ)

地域名	都道府県名	学校名	よみ	得点	本大会出場回数
1 関東	埼玉県 東京都	クラーク記念国際高等学校所沢キャン パス(埼玉)・豊南高等学校(東 京)・自由の森学園高等学校(埼 玉)	くらーきねんこくさいところざわ きやんぱす・ほうなん・じゅうのもり がくえん	186	いずれの学校も初
2		2チーム目は選出なし			

【④開催地枠(選出なし)】※①・②・③に開催地のチームが含まれていない場合、開催地のチームの中で最も得点が高いチームを選出
(選出条件の上位10チーム以内を満たすチームがなかったため、選出なし)

地域名	都道府県名	学校名	よみ	得点	本大会出場回数
1		選出なし			

[本大会の演技順]

順番	都道府県名	学校名	備考
1	埼玉県 東京都	クラーク記念国際高等学校所沢キャンパス ・豊南高等学校 ・自由の森学園高等学校	
2	愛媛県	済美平成中等教育学校・松山聾学校 ・宇和特別支援学校	
3	熊本県	熊本聾学校	
4	愛知県	杏和高等学校	
5	埼玉県	大宮ろう学園	選手宣誓チーム
6	石川県	石川県立ろう学校・田鶴浜高等学校	
7	宮崎県	五ヶ瀬中等教育学校 ・宮崎日本大学高等学校	
8	福島県	聖光学院高等学校	

■ ダンス・歌唱部門

【①得点順枠（6チーム）】※審査得点の高い上位4チーム及び②・④枠で選出がないことによる振替2チーム

	地域名	都道府県名	学校名	よみ	得点	本大会出場回数
1	近畿	兵庫県	神戸野田高等学校	こうべのだ	206	2
2	近畿	大阪府	久米田高等学校	くめだ	204	3
3	関東	東京都	足立東高等学校	あだちひがし	181	2
4	中国・四国	鳥取県	米子東高等学校	よなごひがし	181	6
5	近畿	京都府	京都八幡高等学校南キャンパス	きょうとやわた みなみきやんぱす	169	2
6	関東	東京都	豊南高等学校	ほうなん	166	初

【②合同チーム枠（応募なし）】※①を除き聴覚障がいを対象とする特別支援学校高等部とその他の学校で構成された合同チームの中から審査得点が最も高いチームを選出

	地域名	都道府県名	学校名	よみ	得点	本大会出場回数
1			選出なし			

【③初出場枠（2チーム）】※①・②を除きこれまで本大会に出場したことのない上位2チームを選出

	地域名	都道府県名	学校名	よみ	得点	本大会出場回数
1	関東	東京都	南葛飾高等学校	みなみかつしか	176	初
2	中国・四国	鳥取県	米子松蔭高等学校	よなごしょういん	172	初

【④開催地枠（選出なし）】※①・②・③に開催地のチームが含まれていない場合、開催地のチームの中で最も得点が高いチームを選出（①・③枠に含まれているため選出なし）

	地域名	都道府県名	学校名	よみ	得点	本大会出場回数
1			選出なし			

[本大会の演技順]

順番	都道府県名	学校名	備考
1	鳥取県	米子松蔭高等学校	
2	東京都	南葛飾高等学校	
3	東京都	豊南高等学校	
4	京都府	京都八幡高等学校南キャンパス	
5	鳥取県	米子東高等学校	
6	東京都	足立東高等学校	
7	大阪府	久米田高等学校	
8	兵庫県	神戸野田高等学校	

第12回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 参加申込みチーム一覧

■参加申込 58チーム (62校)

○ 演劇・コント・ボエム等部門
☆ ダンス・歌唱部門

ブロック名	チーム数	学校数	No.	都道府県	学校(チーム)名	よみ	※ 参加 実績	部門	備考			
北海道・東北	2チーム	2校	1	岩手県	盛岡聴覚支援学校	もりおかちょうかくしえん	初	○				
			2	福島県	聖光学院高等学校	せいこうがくいん	4	○				
関東	12チーム	13校	3	群馬県	くんま国際アカデミー中高等部	くんまこくさいあかてみー	初	☆				
			4	埼玉県	小川高等学校	おかわ	2	☆				
			5	埼玉県	大宮ろう学園	おおみやろう	4	○				
			6	埼玉県	大川学園高等学校	おおかわがくえん	5	☆				
			7	埼玉県	クラーク記念国際高等学校 所沢キャンパス	くらーきねんこくさい とろざわきゃんぱす	初	○	複数校でチームを組み参加			
			8	埼玉県	自由の森学園高等学校	じゆうのもりがくえん	初					
			9	東京都	豊南高等学校	ほうなん	11					
			10	東京都	豊南高等学校	ほうなん	11	☆				
			11	東京都	潤徳女子高等学校	じゆんとくじょし	9	○				
			12	東京都	南葛飾高等学校	みなみかつしか	初	☆				
			13	東京都	足立東高等学校	あだちがし	6	☆				
			14	神奈川県	横浜南陵高等学校	よこはまなんりょう	10	○				
			15	神奈川県	横浜市立ろう特別支援学校	よこはましりつろうとくべつしえん	初	○				
			16	神奈川県	横浜富士見丘学園高等学校	よこはまふしみがおかがくえん	4	☆				
			中部	12チーム	13校	17	富山県	小杉高等学校	こすぎ	3	○	
						18	富山県	能谷富山高等学校	りゅうとくやま	3	☆	
19	石川県	石川県立ろう学校				いしかわけんりつろう	3	○	合同チーム			
20	石川県	田鶴浜高等学校				たつるはま	12					
21	石川県	金沢北陵高等学校				かなざわほくりょう	4	○				
22	福井県	啓新高等学校				けいしん	11	☆				
23	山梨県	身延山高等学校				みのぶさん	10	☆				
24	静岡県	吉原高等学校				よしわら	2	☆				
25	愛知県	杏和高等学校				きょうわ	10	○				
26	愛知県	安城生活福祉高等専修学校				あんじょうせいいかつふくしこうとうせんしゅう	8	☆				
27	愛知県	さつき調理・福祉学院				さつきちょうり・ふくしがくいん	初	☆				
28	愛知県	菊華高等学校				きくか	3	☆				
29	愛知県	高浜高等学校				たかはま	2	○				
近畿	8チーム	8校	30	滋賀県	彦根総合高等学校	ひこねそうごう	初	☆				
			31	京都府	京都八幡高等学校 南キャンパス	きょうとやわた みなみきゃんぱす	8	☆				
			32	京都府	山城高等学校	やましろ	初	○				
			33	京都府	日星高等学校	にっせい	6	○				
			34	大阪府	久米田高等学校	くめだ	3	☆				
			35	大阪府	精華高等学校	せいか	初	○				
			36	兵庫県	神戸野田高等学校	こうべのだ	2	☆				
			37	兵庫県	鳴尾高等学校	なるお	10	○				
			中国・四国	10チーム	12校	38	鳥取県	鳥取城北高等学校	とっとりじょうほく	12	○	
39	鳥取県	鳥取県立学校				とっとりろう	10	○				
40	鳥取県	境港総合技術高等学校				さかいみなとそうごうぎじゅつ	12	○				
41	鳥取県	米子松蔭高等学校				よなごしやういん	2	☆				
42	鳥取県	米子東高等学校				よなごひがし	8	☆				
43	岡山県	岡山県美作高等学校				おかやまけんみまさか	8	○				
44	岡山県	岡山後楽館高等学校				おかやまこうらくかん	初	☆				
45	広島県	広島修道大学ひろしま協創高等学校				ひろしまきょうそう	3	○				
46	香川県	尽誠学園高等学校				じんせいがくえん	4	○				
47	愛媛県	済美平成中等教育学校				さいびへいせいちゅうとうきょういっく	3	○	合同チーム			
48	愛媛県	松山聾学校				まつやまろう	7					
49	愛媛県	宇和特別支援学校 聴覚障がい部門	うわとくべつしえん ちょうかくしやうがいがいぶもん	初								
九州・沖縄	14チーム	14校	50	福岡県	久留米築水高等学校	くるめちくすい	3	☆				
			51	福岡県	立花高等学校	たちばな	初	☆				
			52	福岡県	三井高等学校	みい	11	○				
			53	佐賀県	神埼清明高等学校	かんざきせいめい	4	☆				
			54	佐賀県	佐賀星生学園	さがほつしやう	2	○				
			55	熊本県	熊本聾学校	くまもろう	11	○				
			56	熊本県	上天草高等学校	かみあまくさ	3	○				
			57	熊本県	芦北高等学校	あしかた	初	☆				
			58	大分県	大分東明高等学校	おおいたとうめい	12	☆				
			59	宮崎県	鵬翔高等学校	ほうしやう	2	○				
			60	宮崎県	五ヶ瀬中等教育学校	ごかせちゅうとうきょういっく	2	○	複数校でチームを組み参加			
			61	宮崎県	宮崎日本大学高等学校	みやざきにほんだいがく	2					
			62	沖縄県	陽明高等学校(ナリヨ)	ようめい	4	○				
			63	沖縄県	陽明高等学校(焼肉オハナ)	ようめい	4	○				
			64	沖縄県	興南高等学校	こうなん	初	☆				

※参加実績欄 数字は参加回数(今大会含む)、「初」:初参加校

【申込み数】

チーム数	58チーム
学校数	62校
都道府県数	27

○演劇・コント・ボエム等部門 31チーム(36校)(21都府県)
☆ダンス・歌唱部門 27チーム(27校)(20都府県)

【参加実績内訳】

初参加校	15
初参加チーム	12
過去参加校	47

「更年期だれでもチャットボット」の開設について

令和7年7月22日
健康政策課

更年期症状・障がいに関する情報を入手する手段として、24時間いつでもアクセスでき、効率よく検索可能な「更年期だれでもチャットボット」を開設しましたので報告します。「更年期だれでも相談室」と併せ、更年期で悩まれている方の支援を推進します。

1 運用開始日

令和7年7月8日

チャットボット>>



2 特徴

- ・相談の多い全56項目を収録
- 男女別の更年期障がいの概要、症状別の対応方法、治療や乗り切るための工夫、セルフケアの方法、家族や職場で更年期障がいであることの伝え方(必要なサポート・理解を得るため)等
- ・「更年期だれでも相談室」を案内、受診につなげる
- 解決しない悩みをそのままにされないよう、県内3カ所(県中、厚生、山陰労災)に設置している電話相談窓口を選択メニューに表示させることにより、相談員(看護師・助産師)への直接相談や医療機関の受診につなげる。

3 周知等

- ・とりネット、SNS 広告、チラシ等で広く周知を行う。
- ・アクセスの多い項目や Q&A の追加等、更年期障がい医療拠点病院(鳥大)や更年期だれでも相談室と連携し、定期的に検証を行い、効果的な活用につなげる。

【参考1】更年期だれでも相談室(更年期障がい相談支援センター) 開設状況(R5.8 開設)

	県立中央病院	県立厚生病院	山陰労災病院
受付方法	電話、面談	同左	電話
受付時間	水・木曜日/午前9時～正午	平日/午前9時～午後5時	月・水曜日/午後2時～午後4時
電話番号	0857-26-2271	0858-22-8181	0859-35-2080

【参考2】更年期だれでも相談室相談件数

R5	R6	R7 (~5月まで)
32件 (男性 18/女性 14)	79件 (22/57)	12件 (6/6)

【参考3】スマートフォンで閲覧したときの画面

① トップメニュー>「男性更年期障がいの概要」、 「更年期障がいの原因(男性)」を選択

こんにちは。更年期に関することについてご案内します。
質問したい項目を選んでください。項目が分からない場合は質問欄にキーワードを入力し、表示された候補から選んでください。

女性の更年期の概要

- 女性の更年期障がいの治療や対処法
- 女性の更年期症状別対処法
- 女性の更年期障がい予防
- 女性更年期障がいに関する情報
- 男性更年期障がいの概要**
- 男性更年期障がいの治療や対処法
- 男性更年期症状別対処法
- 男性の更年期障がい予防
- 男性更年期障がいに関する情報
- 周囲の理解 (男女共通)
- 鳥取県における電話相談先 (男女共通)

男性更年期障がいの概要

- 男性更年期障がいの概要ですね
- 更年期障がいの原因 (男性)
- 更年期障がいの始まりと終わり (男性)**
- 男性ホルモン (テストステロン) の役割 (男性)
- 更年期障がいに似た病気や症状について (男性)

② 「更年期障がいの原因(男性)」 の回答が表示

更年期障がいの原因 (男性)

男性更年期障がいは、男性ホルモンのひとつである「テストステロン」が低下して起きるとされています。テストステロンを低下させる原因の一つは加齢です。20代をピークにして、年齢と共に徐々に分泌量が減少します。また、ストレス・睡眠不足・暴飲暴食・肥満・過度の飲酒・喫煙などが加わると、テストステロンがさらに減少し、男性更年期障がいにつながる可能性があると言われています。

さらには、加齢によるからだの変化や、精神的・心理的な要因、家庭や職場などの社会的要因などが、複合的に影響して、更年期障がいを発症すると考えられています。

質問は解決しましたか?

はい いいえ

他に知りたいことはございますか?

- 更年期障がいの原因 (男性)
- 更年期障がいの始まりと終わり (男性)
- 男性ホルモン (テストステロン) の役割 (男性)
- 更年期障がいに似た病気や症状について (男性)
- その他

こちらに質問を入力してください

音声入力 送信 クリ

③ 「はい」を選択した場合

ありがとうございます。お役に立ててよかったです。
これからも皆様のお役に立てるよう頑張ります！

③ 「いいえ」を選択した場合

お役に立てずごめんなさい。
別の言葉や文章でもう一度質問してください。

熱中症対策について

令和7年7月22日
健康政策課

今後も気温が平年より高い傾向にあることが予想され、熱中症にかかりやすい状況が見込まれることから、市町村及び関係機関と連携し、引き続き熱中症対策を推進していきます。

1 熱中症警報等の発令（県独自の取組）

県ホームページ、あんしんトリピーメール、資料提供により発表する。

種類	発令基準	令和7年度の発表状況	(参考)前年同期の発表状況
熱中症警戒期間	概ね30度以上の日が3日以上（期間：3～7日間）	4回	8回
熱中症特別警戒期間	概ね35度以上の日が3日以上（期間：3～7日間）	3回	0回

○令和7年度熱中症による救急搬送者数（4/1～7/13） ※（ ）は前年同日まで

- ・救急搬送者数は220人（194人）前年比 26人増加
＜年齢区分別＞ 高齢者135人（118）、成人50人（56）、少年34人（19）、乳幼児1人（1）
＜傷病程度別＞ 死亡0人（1）、重症9人（4）、中等症94人（82）、軽症117人（107）
＜発生場所別＞ 住居82人（74）、教育機関19人（9）、仕事場27人（25）、その他92人（86）

○令和7年度の熱中症警戒アラートの発表（環境省・気象庁）（7/6現在）

- ・暑さ指数（WBGT）により熱中症の危険性が極めて高くなると予測される際に発表される。
- ・本県に対する今年度の発表は4回（前年同日まで：3回）（7/6現在）
※WBGT（暑さ指数:Wet Bulb Global Temperature） 人体と外気との熱のやり取り（熱収支）に注目した指数。湿度、日射、温等を要素とし算出。WBGT=0.7×湿球温度+0.2×黒球温度+0.1×乾球温度
※発表回数は、前日午後5時と当日5時の発表を1回としてカウント

2 熱中症対策の取組状況

＜市町村及び関係機関との連携＞

- ・救急搬送重症事例発生時には、その都度、市町村に注意喚起を実施

＜県民＞

- ・県政CMをリニューアルし放送中（好ましい行動に着目した注意喚起）
- ・熱中症警戒期間、熱中症特別警戒期間等のあんしんトリピーメールや県とりネットによる周知
- ・新聞、広告塔等各種媒体を用いた注意喚起

＜高齢者（市町村）＞

- ・地域包括支援センターや、民生児童委員、中山間見守り事業者、高齢者施設事業者等の協力による独居高齢者や高齢者のみ世帯への注意喚起（戸別訪問、啓発物の配布）

＜事業者団体（鳥取労働局等関係団体）＞

- ・就労・作業される方への注意喚起→改正労働安全衛生規則（令和7年6月1日施行）
〔主な改正〕事業者は、熱中症の疑いのある者の早期発見、事業所内連絡網の作成、医療機関搬送手順フロー作成等、重篤化を防ぐための整備が必要（義務）
- ・暑熱環境における作業注意、規則改正への対応についてシルバー人材センター連合会へ依頼文書を発出
- ・農協等による農作業従事者への注意喚起 ※暑さ指数（湿度・輻射熱・気温）による注意喚起

＜学校＞

- ・学校関係者等による児童・生徒への注意喚起

＜その他＞

- ・包括連携協定に基づく注意喚起→県内コンビニ2社・大塚製菓と連携した注意喚起（7/1～14）
セブンイレブン×大塚製菓×鳥取県：セブンイレブンアプリ内でのトップバナーで県の熱中症啓発
ファミリーマート×大塚製菓×鳥取県：ファミリーマート店内の店頭サイネージで熱中症啓発
- ・関係機関と情報共有や対策の協議をする「第2回熱中症連絡会議」の開催（7/17 予定）

<表1>R7熱中症(疑い)による救急搬送状況(R7.4.1~7.13)

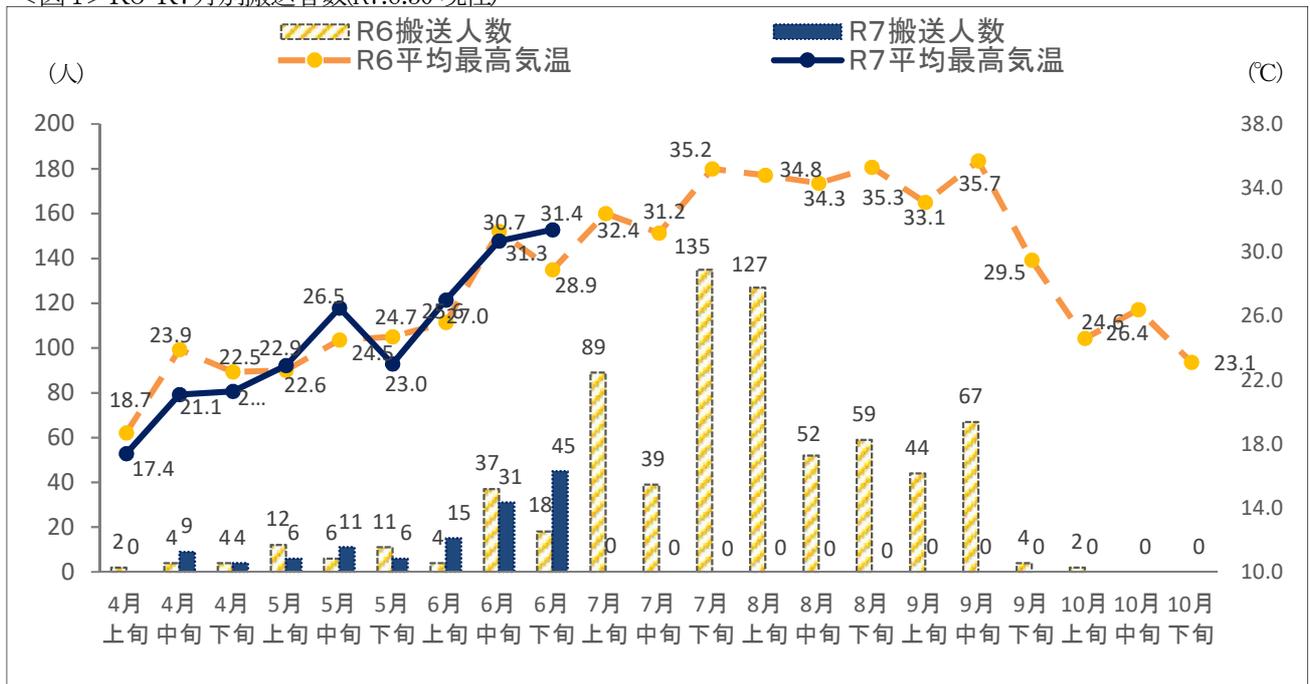
※()は前年同日まで (単位:人)

区分	合計	軽症	中等症	重症	死亡
乳幼児 (0~6歳)	1 (1)	0(1)	1(0)		
少年 (7~17歳)	34 (19)	25(13)	9(5)	0(1)	
成人 (18~64歳)	50 (56)	33(32)	15(23)	2(1)	
高齢者 (65歳~)	135(118)	59(61)	69(54)	7(2)	0(1)
合計	220(194)	117(107)	94(82)	9(4)	0(1)

<表2>R7重症事例(R7.4.1~7.13)

	月日	圏域	年代	性別	搬送状況
1	4月19日	東部	30代	男	鳥取砂丘を観光中に気分が悪くなり搬送。吐気、頭痛、痙攣なし。消防覚知:午後2時半頃
2	4月20日	中部	50代	男	倒れているところを朝から一緒に作業をしていた人が声をかけるも返事なく呼吸と脈なし。上下ヤッケ着用。消防覚知:午前10時半頃
3	5月5日	東部	70代	男	朝から田んぼで農作業。倒れているところを近所の方が通報。長袖トレーナー長ズボン着用。消防覚知:午前9時半頃
4	6月8日	東部	80代	男	エアコンのない寝室で意識レベルが低下しているところを家族が発見し通報。長袖トレーナー長ズボン着用。消防覚知:午後2時半頃
5	6月18日	東部	80代	男	寝室で呼吸苦とめまいの訴えがあり家族が通報。エアコン稼働あり、体温39.2度、長袖半ズボン、水分あり。消防覚知:午後2時半頃
6	6月22日	東部	90代	女	居間で倒れているところを家族が発見し通報。エアコン稼働なし、長袖長ズボン着用。消防覚知:午後2時半頃
7	7月3日	西部	80代	男	路上で倒れ散るところを郵便局員が発見し通報。長袖Tシャツ、長ズボン。消防覚知:午後4時頃
8	7月5日	西部	90代	女	室内で倒れているところを宅配業者が発見し通報。上下薄手部屋着。消防覚知:午前9時半頃
9	7月11日	西部	70代	男	台所で倒れていた。上は身に着けていない、下は薄手の甚平。消防覚知:午後2時

<図1>R6・R7月別搬送者数(R7.6.30 現在)



国の医師偏在対策に係る要望活動について

令和7年7月22日
医療政策課

国が、本県を含む「医師多数県」の令和7年度医学部臨時定員地域枠を一律に削減（本県は令和6年度比2名削減）したことを契機に、これまで「多数県」有志の県や医師会、全国知事会と連携し、要望活動を重ねてきました（令和6年度4回要望活動を実施）。

これらの活動が奏効し、令和8年度医学部臨時定員地域枠の配分・調整方法が改善される（本県は令和7年度と同数の見込み）など、国からは一定の配慮が示されたものの、「医師多数県」の臨時定員地域枠を「医師少数県」へ振り替える方針は堅持されたままであることから、この度国への要望活動を実施しましたので概要を報告します。

【医学部臨時定員】

地域の医師確保等のため平成21年度から医学部定員が増員されているもの。都道府県、大学が連携して毎年国に配分を申請し、大学は臨時定員を活用して地域枠を設置、都道府県は地域枠医学生に医師確保奨学金を貸与（卒業後一定期間県内勤務等で返還を免除）している。国は令和7年度以降、「医師多数県」への配分を一律に削減（令和6年度配分数の8割、ただし激変緩和の観点から一部復元措置あり）し、「医師少数県」への手厚い配分に活用することとしている。

【医師多数県】

国の「医師偏在指標」(※)の上位1/3の16都府県（本県は13位）。なお、下位1/3の16県が「医師少数県」とされている。

(※) 医師偏在指標：人口10万人対医師数の指標に代わるものとして、地域ごとの医療ニーズや人口構成、医師の性年齢構成等を踏まえ、国が機械的に算出したもの。

1 「医師多数県」有志の県

本県に加え、石川県、奈良県、和歌山県、岡山県、徳島県、香川県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、沖縄県の計13県

2 要望概要

- (1) 要望日 7月10日(木)
- (2) 相手方 仁木 博文 厚生労働副大臣
- (3) 「医師多数県」有志の県出席者 平井知事、後藤田徳島県知事、池田沖縄県副知事、家保高知県理事、浜原岡山県東京事務所長、平池香川県東京事務所長 他
- (4) 要望内容 別添要望書のとおり
- (5) 主なやりとり

(平井知事)

○医師偏在は、医師の東京集中で東日本各県が「医師過疎」となり、その結果医師数が「西高東低」となっているもの。県の努力により平均的な医師数を確保している西日本各県に「医師多数県」のレッテルを貼ってその医学部臨時定員地域枠を削減し「医師少数県」にまわすような現在の偏在対策を改め、地域の実情に即して、医師不足解消に向けた対策を考えていただきたい。

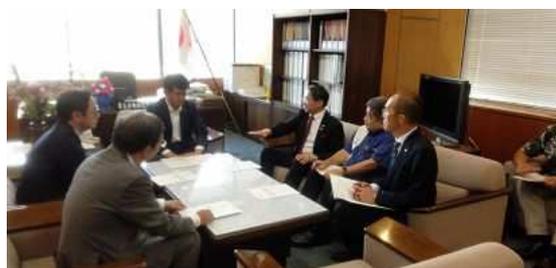
○医療機関の経営が難しくなっている。全国知事会と日本医師会等で意見交換も行ったが、病院が潰れるような話は大変な問題であり、この度要望に加えさせていただいた。

(仁木厚生労働副大臣)

○医療が提供できなければその地域は、特に若い世代が住めない「官製過疎」になってしまう。

○将来的に人口対医師の供給側が多くなりすぎる懸念もあるが、地域性もあり、また、現在あまりにも東京に集まりすぎているということもある。

○実態の数値、地域の実情に基づきながら政策を組み立てていきたい。



3 今後の取組

今後の医学部定員等に係る国の動向にも留意しつつ必要に応じて国への要望活動を粘り強く行い、引き続き、本県の医療に必要な医師の確保対策を進めていく。

<参考：令和7年度鳥取大学医学部定員>

定員 R7:109名 (←R6:110名)

恒久定員 85名				臨時定員 24名 (←R6:25名) (R6比△1名)			
一般	学士編入	地域枠		臨時養成枠	特別養成枠	島根県枠	兵庫県枠
73名	5名	5名	2名	11名(←R6:12名)	6名	5名	2名

鳥取県枠：17名 (←R6:18名)

真に医師不足にある地方を救う大都市部から地方への 実効性のある医師偏在対策を求める要望書

国におかれては「医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージ」を策定し、実効性のある総合的な医師偏在対策を推進するとされている。

これまでの「医師多数県」有志県・医師会や全国知事会の要望、また、日本医師会による提言などもあり、国において、地方と丁寧協議しながら対策の検討が行われ、医師偏在指標の令和9年度からの見直しの検討や個々の地域の実情を踏まえるといった方向性が提示されていること、令和8年度の医学部臨時定員の配分・調整について新たに若手医師や高齢医師の割合に着目した算定方法が追加されたことに感謝申し上げるとともにこの方向性を着実に進めていただくことを願います。

一方で、個々の地域の実情を踏まえるとの方向性は提示されつつも、「医師多数県」の臨時定員地域枠を「医師少数県」へ振り替える方針自体は依然として堅持されたままである。診療報酬の見直しが物価高騰や人件費増等に追いつかず医療機関が経営継続に大きな不安を抱えている状況や、令和8年4月以降診療所の医師が確保できず無医地区となるおそれのある地域もある中、「医師多数県」の医学部臨時定員は令和8年度も引き続き削減される見込みである。「医師多数県」は、機械的に算出された医師偏在指標の全国上位1/3の都府県に一律に貼り付けられたレットルに過ぎず、人口集積や医師の年齢構成の違い、中山間地域や離島などを多く含む地方部が抱える深刻な医師不足の実情が反映されていないため、この指標に頼った偏在是正は実効性において疑問がある。

努力を重ねて平均的な医師数をようやく確保した、高齢化・過疎化が進む中山間地・離島主体の地域についても「医師多数県」のレットルを貼って医師削減を求めることは、地域医療を悪化させ日本全体の医療を誤った方向に導くものと懸念する。このため、医師偏在対策の転換を求めるべく、志をともにする県と医師会が連携し、以下の実現に向けて強く要望する。

- 1 偏在是正のために医学部定員を見直すとしても医師不足の地方部の臨時定員を削減するのではなく合理的な対策を検討すべきであり、地域それぞれの必要な医療体制を守ること。
- 2 偏在是正にあたっては医師多数県や少数県といった区分けにより一律に行うのではなく、最新のデータに基づき、地域の実情を詳細に分析・認識した上で、地理的加算を考慮するなど、地方としっかりと協議を行いながら進めること。

- 3 医師偏在指標の見直し検討、令和9年度以降の医学部定員の適正化の検討などにあたっては、地方としっかりと協議を行いながら進めること。
- 4 医師の専門分化や医師の高齢化の進展、女性医師の増加、医師の働き方改革の影響等を十分踏まえ、必要医師数を再検証し、今後も医療需要の高まりが見込まれる中、離島や中山間地域等どの地域にあっても、地域住民の健康が守られるよう、実質的に医師が確保できる、大胆に踏み込んだ仕組みをつくること。
- 5 診療科の偏在については、国が責任を持って実効性のある対策を講じること。

令和7年7月10日

石川県知事 馳 浩	石川県医師会長 安田 健二
奈良県知事 山下 真	奈良県医師会長 安東 範明
和歌山県知事 宮崎 泉	和歌山県医師会長 平石 英三
鳥取県知事 平井 伸治	鳥取県医師会長 清水 正人
岡山県知事 伊原木 隆太	岡山県医師会長 松山 正春
徳島県知事 後藤田 正純	徳島県医師会長 齋藤 義郎
香川県知事 池田 豊人	香川県医師会長 久米川 啓
高知県知事 濱田 省司	高知県医師会長 野並 誠二
福岡県知事 服部 誠太郎	福岡県医師会長 蓮澤 浩明
佐賀県知事 山口 祥義	佐賀県医師会長 志田 正典
長崎県知事 大石 賢吾	長崎県医師会長 森崎 正幸
熊本県知事 木村 敬	熊本県医師会長 福田 稠
沖縄県知事 玉城 デニー	沖縄県医師会長 田名 毅

ドクターヘリ運航休止に伴う鳥取県対策会議の開催について

令和7年7月22日
医療政策課

関西広域連合管内のドクターヘリの受託運航会社であるヒラタ学園より、整備士不足を理由に、7月以降鳥取県ドクヘリを含む関西広域に所属するドクヘリ8機が順次運航を休止するとの連絡があったため、本県対策会議を開催しましたので報告します。

1 ドクターヘリの運航停止の概要

(1) 運航の休止期間

和歌山県ドクヘリ：7月 9日（水）～7月15日（火）
京滋ドクヘリ：7月11日（金）～7月13日（日）
奈良ドクヘリ：7月16日（水）～7月22日（火）
鳥取県ドクヘリ：7月22日（火）～7月28日（月）
大阪ドクヘリ：7月24日（木）～7月30日（水）

※8月は7月に運航を停止していないドクターヘリ（3府県ドクヘリ（豊岡病院配置）を含む）について、運航休止の予定。

(2) 運航停止の原因

7月及び8月において、運航に必要な整備士が確保できないことによるもの。

※ドクヘリの運航に当たってはパイロットに加え整備士の搭乗が必要。

2 鳥取県対策会議の概要

(1) 日時・場所：令和7年7月17日（木）午後2時30分から午後2時50分まで（鳥取県庁）

(2) 出席者：知事、鳥大病院高度救命救急センター 上田センター長、東部消防局、中部消防局、西部消防局

(3) 議 事：1 鳥取県ドクターヘリの運航休止の経緯
2 運航休止に係る関西広域連合の対応
3 運航休止に係る本県の対応

(4) 主な発言

(平井知事)

- ・ドクヘリ運航休止は契約違反であることは明確で、安全運航が救急医療の前提になるもの。県としてしっかりとヒラタ学園に対し申し入れを行う。
- ・本県ではこれまでも豊岡ドクヘリ、島根県ドクヘリ等の他県ドクヘリとの連携、医師搭乗型消防防災ヘリや、この度夜間運用を行ったドクターカーなどの活用体制を構築しており、この度の運航休止でも対応を行っていく。

(鳥大病院上田センター長)

- ・今回の運航休止に当たって、運営するヒラタ学園に対する不信感がある。医療過疎地ではドクヘリが有用で、それで命を救えることが多々あり、それができない期間が出てしまうので非常に危惧している。
- ・ヒラタ学園はまた問題を起こすかもしれない。他社と応援協定を結ぶ等、然るべき措置を行い、リスクヘッジが必要。

(5) 今後の本県の対応

- ・鳥取県ドクヘリが運航休止となった場合でも、3府県ドクヘリや中国5県協定による島根県ドクヘリ、岡山県ドクヘリによる広域連携や本県消防防災ヘリ等による運用体制を構築済。
- ・必要に応じ、医師搭乗型消防防災ヘリや消防防災ヘリ、夜間運行拡充を行っている鳥大病院のドクターカー等による運用を実施。
- ・運航休止は契約違反であり、運航を行うヒラタ学園に対しドクヘリの運航継続を強く申し入れ。

⇒会議を受け、7月17日付けでヒラタ学園に対し運航継続・再発防止を求める申し入れを実施

※参考（鳥取県ドクヘリの概要）

- 事業主体：関西広域連合（鳥取県は、運航実績に応じた負担金を支出）
- 事業実施主体：鳥取大学医学部附属病院
- 受託運航会社：学校法人ヒラタ学園（神戸市）
- 出動待機時間：原則8:30～17:15（毎日）
- 運航範囲：原則として、鳥取県全域及び兵庫県北西部並びに島根県、岡山県及び広島県の一部
- 出動実績：R4年度513件、R5年度566件、R6年度509件

安定ヨウ素剤の事前配布について

令和7年7月22日
医療・保険課

原子力災害発生時に一時集結所等で速やかに安定ヨウ素剤を受け取ることが困難で、希望される方への安定ヨウ素剤の事前配布をしています。このたび、新たに郵送による事前配布を開始するので、その概要について報告します。

1 安定ヨウ素剤の事前配布の概要

- 安定ヨウ素剤の配布については、米子市及び境港市の一時集結所、学校等に安定ヨウ素剤を備蓄しており、国の指針等（※）に沿って、原子力災害発生時に避難等に合わせて緊急配布することを基本としている。
- ただし、UPZ内に居住する住民のうち、原子力災害時に一時集結所で速やかに安定ヨウ素剤を受け取ることが困難な方で、希望される方へは事前配布説明会における配布及び米子保健所による通年配布を行っており、令和7年度からは新たに郵送による配布を開始する。

（※）「原子力災害対策指針」（令和元年7月3日 原子力規制委員会）、「安定ヨウ素剤の配布・服用に当たって」（令和6年12月26日 原子力規制庁）

2 配布方法

（1）米子市・境港市での事前配布説明会における配布

- 開催日及び会場（居住地に関係なくいずれの会場でも参加可能）

開催日	会場
9月26日（金）	弓浜地域老人福祉センター
9月27日（土）	境港市民交流センター みなとテラス

- 申込受付期間：令和7年8月4日（月）から8月29日（金）まで
- 受取方法：①申込書を米子市又は境港市へ提出する。
②事前配布説明会に参加し、必要な説明や問診を受けた後、安定ヨウ素剤を受け取る。

（2）米子保健所での通年配布

- 実施時期：通年（毎月第2・第4火曜日（祝日を除く）午後3時から午後5時まで（予約制））
- 受取方法：①申込書を米子保健所へ提出する。（受取希望日の10日前まで）
②予約日時に米子保健所にて医師等からの説明等を受けた後、安定ヨウ素剤を受け取る。

（3）郵送による配布（新規）

- 実施時期：通年（令和7年8月4日（月）から申込みの受付開始予定）
- 受取方法：①県ホームページから安定ヨウ素剤の説明動画を視聴し、安定ヨウ素剤の配布目的、効果、服用指示の手順とその連絡方法、配布後の保管方法、服用時期、副作用等の留意点等を確認する。
②電子申請等により配布希望者の情報・健康状態等の問診を記入し、申込み。
③県において申込内容を確認し、郵送により安定ヨウ素剤を送付する。

※インターネットで動画が視聴できない方、電子申請での申込みを希望されない方等には、動画DVD及び紙の問診票を送付し、動画視聴及び問診票への記入を行ってもらい、健康状態等の確認後、郵送する。